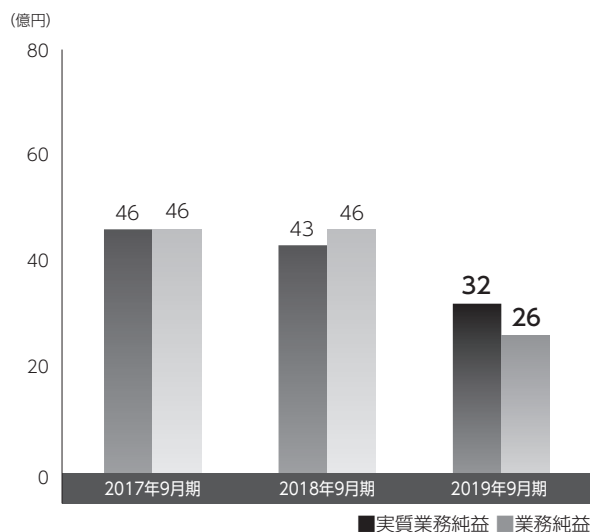


実質業務純益と業務純益

実質業務純益は、役務取引等利益やその他業務利益は増加し経費も減少しましたが、資金利益が減少し、前年同期比11億40百万円減少の32億46百万円となりました。業務純益は、一般貸倒引当金の増加により、前年同期比19億44百万円減少の26億99百万円となりました。

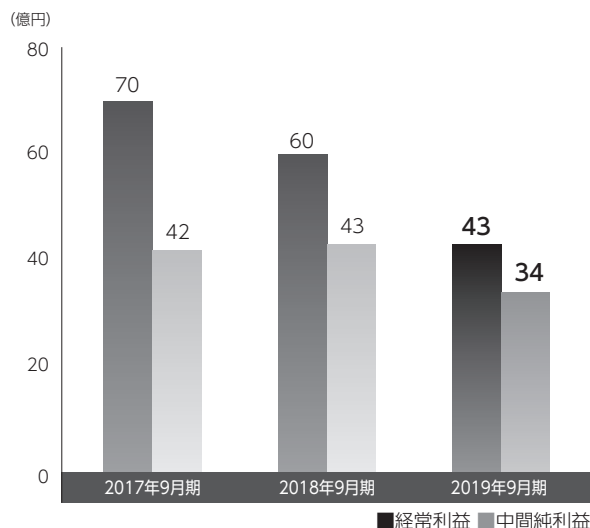
実質業務純益と業務純益



経常利益と中間純利益

臨時損益は、株式等関係損益は減少しましたが、不良債権処理額の減少や償却債権取立益の増加等により、前年同期比3億25百万円増加の16億92百万円となりました。この結果、経常利益は、前年同期比16億19百万円減少の43億91百万円、中間純利益は、同9億79百万円減少の34億8百万円となりました。

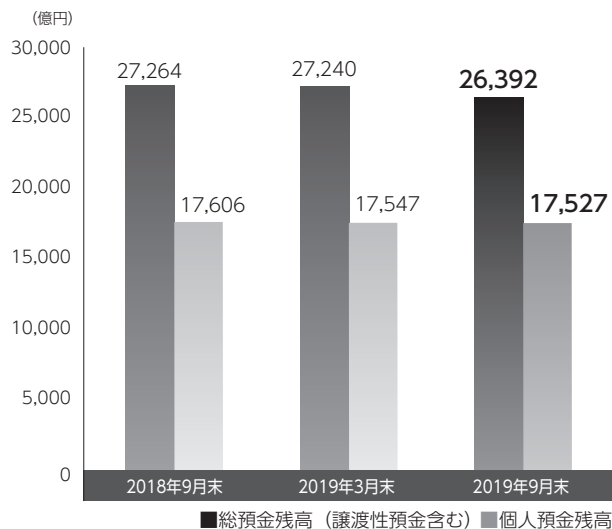
経常利益と中間純利益



総預金と個人預金

総預金（譲渡性預金を含む）は、個人預金・法人等預金・譲渡性預金がそれぞれ減少し、前年同期末比872億円減少の2兆6,392億円となりました。前年度末との比較では848億円減少しました。

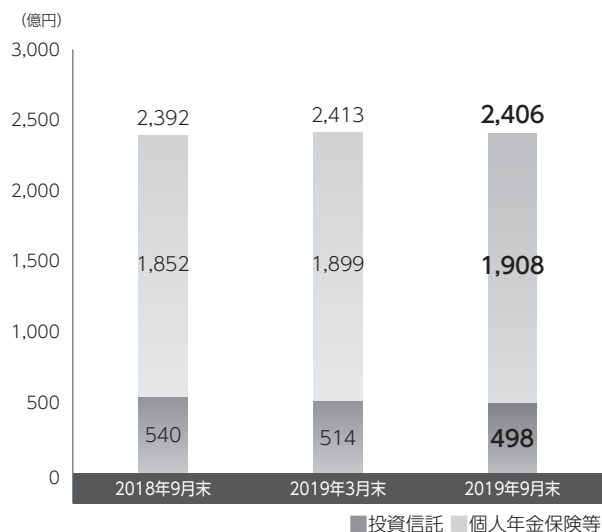
総預金残高（譲渡性預金含む）と個人預金残高



個人預り資産(投資信託、個人年金保険等)

個人預り資産(投資信託および個人年金保険等)は、お客さまの多様な資金運用ニーズに対応しました結果、投資信託は減少しましたが保険商品(個人年金保険等)が増加し、前年同期末比14億円増加の2,406億円となりました。前年度末との比較では7億円減少しました。

個人預り資産残高(投資信託および個人年金保険等)



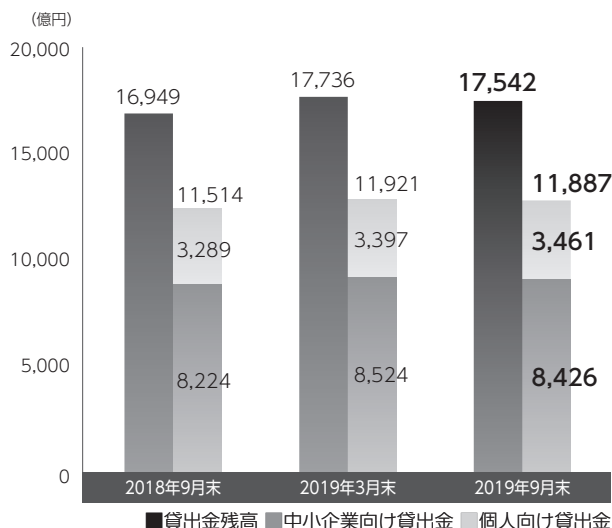
貸出金と中小企業等貸出金

貸出金は、中小企業向け・個人向け融資を積極的に推進しました結果、個人向け・中小企業向け・その他がそれぞれ増加し、前年同期末比593億円増加の1兆7,542億円となりました。前年度末との比較では194億円減少しました。

中小企業向け貸出金は、事業性を評価した取組みにより、前年同期末比202億円増加の8,426億円となりました。前年度末との比較では98億円減少しました。

個人向け貸出金は、住宅ローンの増加により、前年同期末比172億円増加の3,461億円となりました。前年度末との比較では64億円増加しました。

貸出金残高と中小企業等貸出金(中小企業向け貸出金および個人向け貸出金)



有価証券

有価証券は、マイナス金利政策の継続による厳しい投資環境のなか、再投資の抑制等により、前年同期末比1,343億円減少の8,338億円となりました。前年度末との比較では218億円増加しました。

有価証券残高(円建債券、外貨建債券、投資信託等)

